



**澁澤倉庫株式会社(証券コード:9304)**

---

**2026年3月期**

**決算説明会資料**

**2026年5月25日**

# INDEX

## ➤ 2026年3月期 決算概要

- 連結経営成績
- セグメント別 業績・概況
- 業務別 営業利益 増減要因
- バランスシート/キャッシュフローの状況

## ➤ 2027年3月期業績予想

- 連結業績予想
- セグメント別業績予想

## ➤ 中期経営計画の進捗

- 事業戦略
  - ◆ 物流事業戦略（競争力強化に向けた取組みと「M&A」）
  - ◆ 不動産事業戦略
  - ◆ ESGへの取組み推進
- 財務戦略・株主還元強化
  - ◆ キャッシュアロケーション
  - ◆ 資本効率の向上
  - ◆ 株主還元強化

- 陸上運送業務が好調に推移したことを主要因に前年同期比増収、営業原価の増加及び固定費負担の先行により減益
- 当期純利益は、政策保有株式の売却益により増益

単位:百万円	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
			金額	増減率
営業収益	78,620	79,740	+1,120	+1.4%
営業利益 (営業利益率)	4,668 (5.9%)	4,097 (5.1%)	▲570 -	▲12.2% (▲0.8P)
経常利益	5,583	4,858	▲725	▲13.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,908	6,333	+1,424	+29.0%

# セグメント別 業績

## 物流事業

営業収益 前期比 +12億8千2百万円 (+1.8%)

営業利益 前期比 ▲2億2千 万円 (▲5.7%)

## 不動産事業

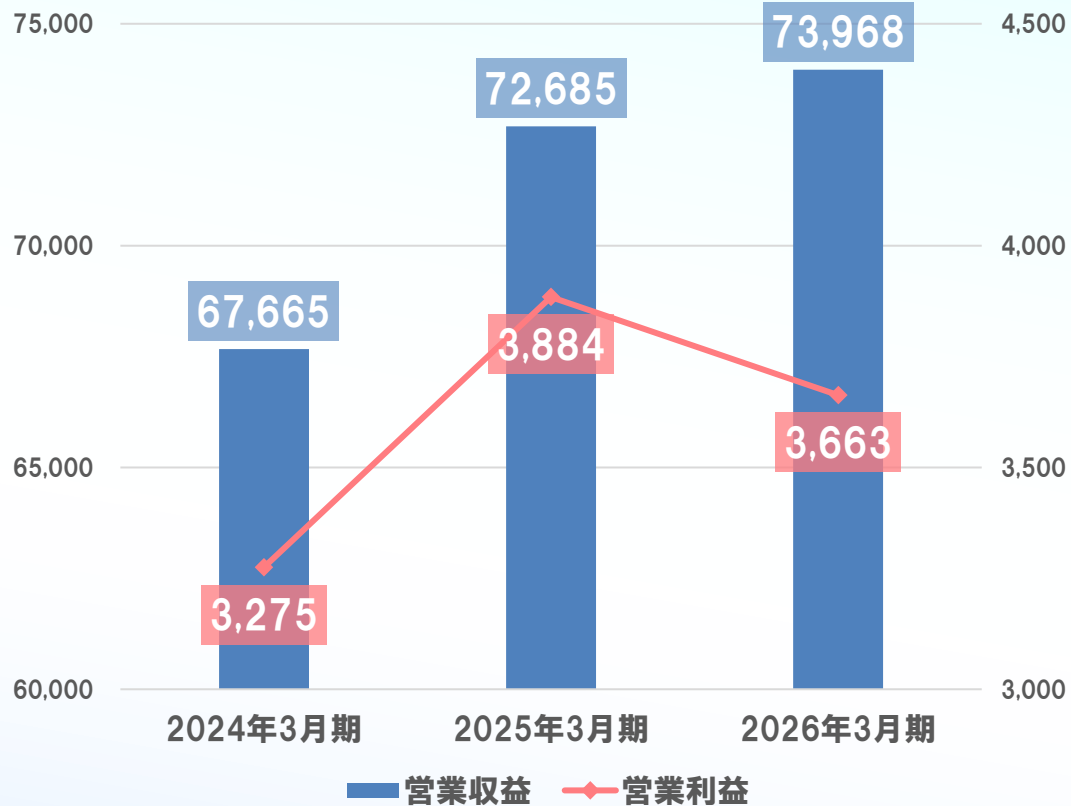
営業収益 前期比 ▲2億5千7百万円 (▲4.0%)

営業利益 前期比 ▲2億1千6百万円 (▲6.5%)

単位:百万円	営業収益(連結)				営業利益(連結)			
	2025年 3月期	2026年 3月期	前期比		2025年 3月期	2026年 3月期	前期比	
			金額	増減率			金額	比率
物流事業	72,685	73,968	+1,282	+1.8%	3,884	3,663	▲220	▲5.7%
不動産事業	6,403	6,146	▲257	▲4.0%	3,350	3,134	▲216	▲6.5%
調整額	▲468	▲373	—	—	▲2,566	▲2,700	—	—
合計	78,620	79,740	+1,120	+1.4%	4,668	4,097	▲570	▲12.2%

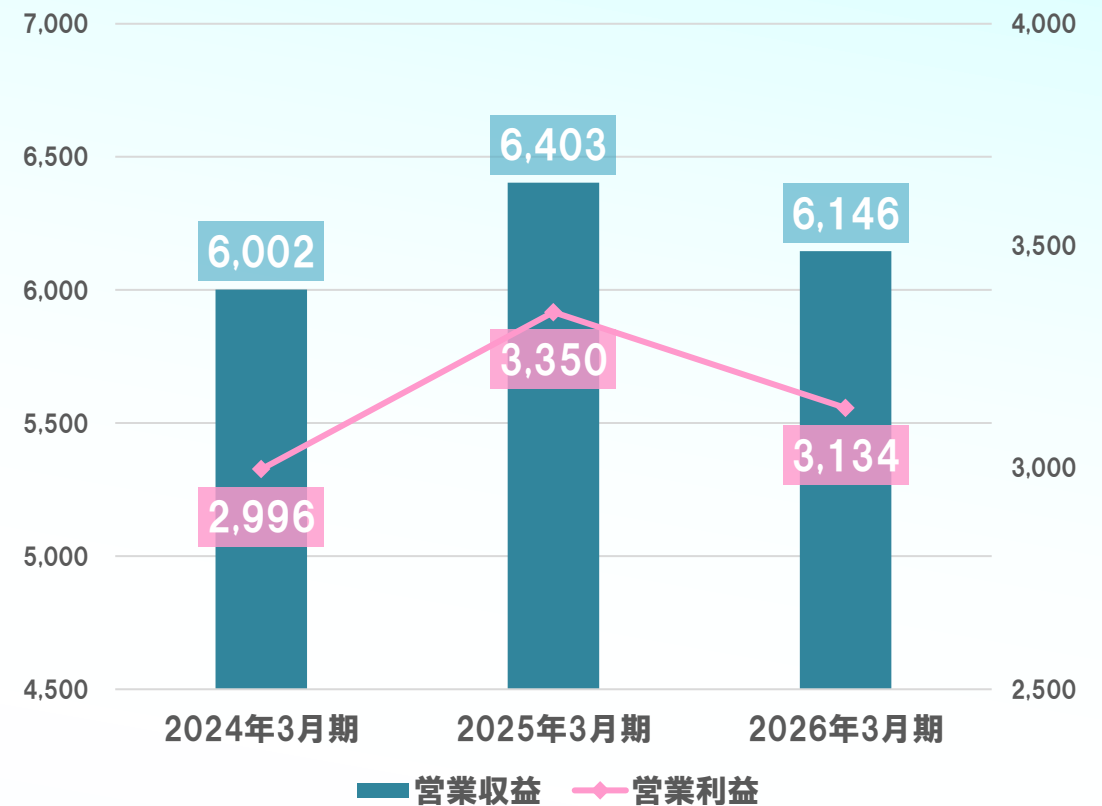
# セグメント別 概況

物流事業（営業収益・利益 推移）（単位：百万円）



- 飲料業務が全般好調であったことに加え、輸入食品や医薬機器関連の新規獲得など主に陸上運送事業の取扱い増加
- 既存事業においては適切な価格転嫁により収益力は改善も、新設拠点に係る一時的な費用増加が利益の下押し要因

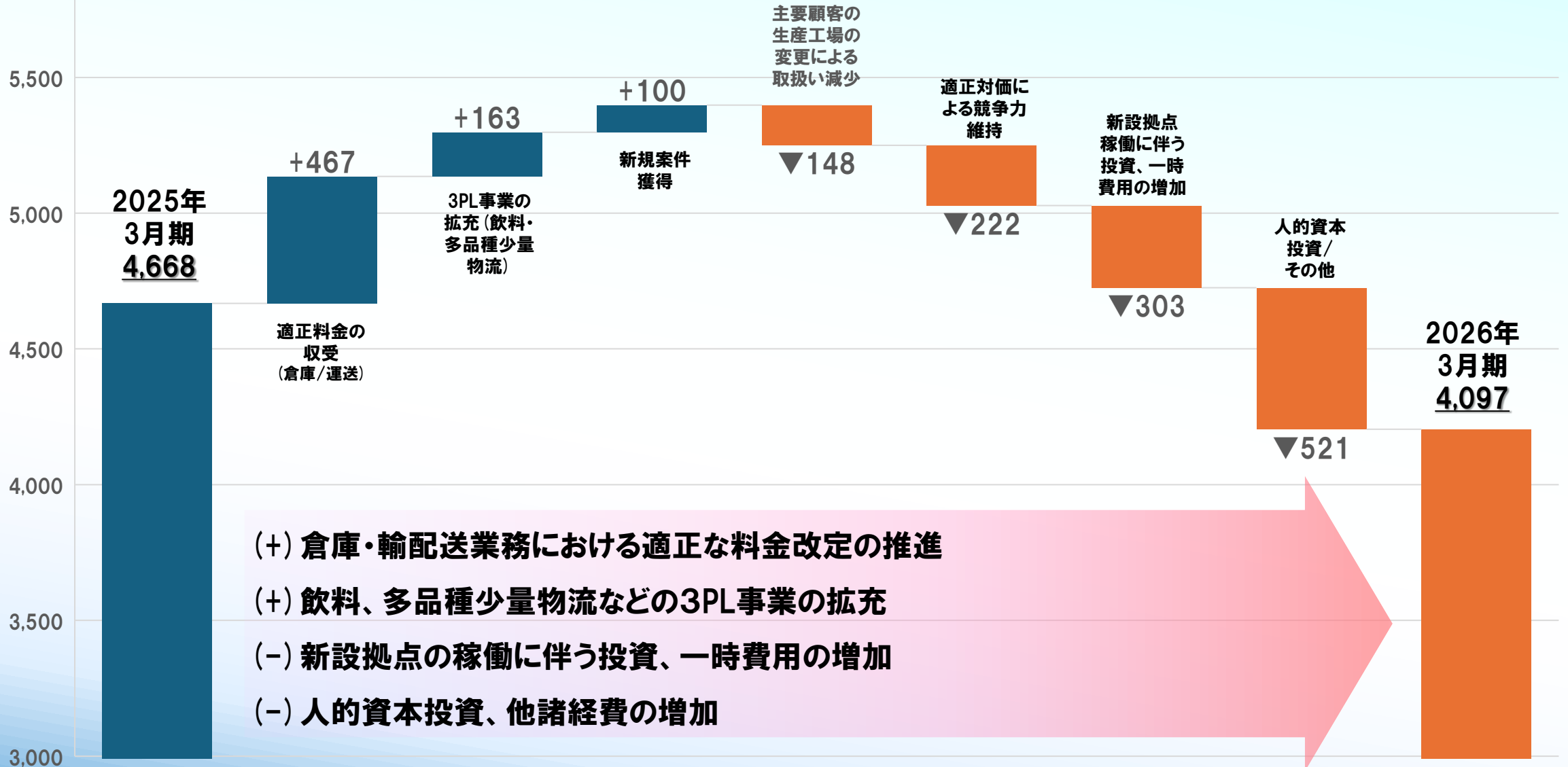
不動産事業（営業収益・利益 推移）（単位：百万円）



- 前期好調であったビル工事請負業務の反動減
- 既存施設における計画的な保守改良工事の実施による費用増

# 業務別 営業利益 増減要因

(単位:百万円)



# バランスシートの状況

- 株主資本の増加をコントロール : 当期純利益 63億円、配当 25億円、自己株式取得 15億円
- 財務健全性の維持継続 : 自己資本比率 57.3%、Net DER (純負債資本倍率) 0.24、NetDebt/EBITDA (有利子負債比率) 2.01

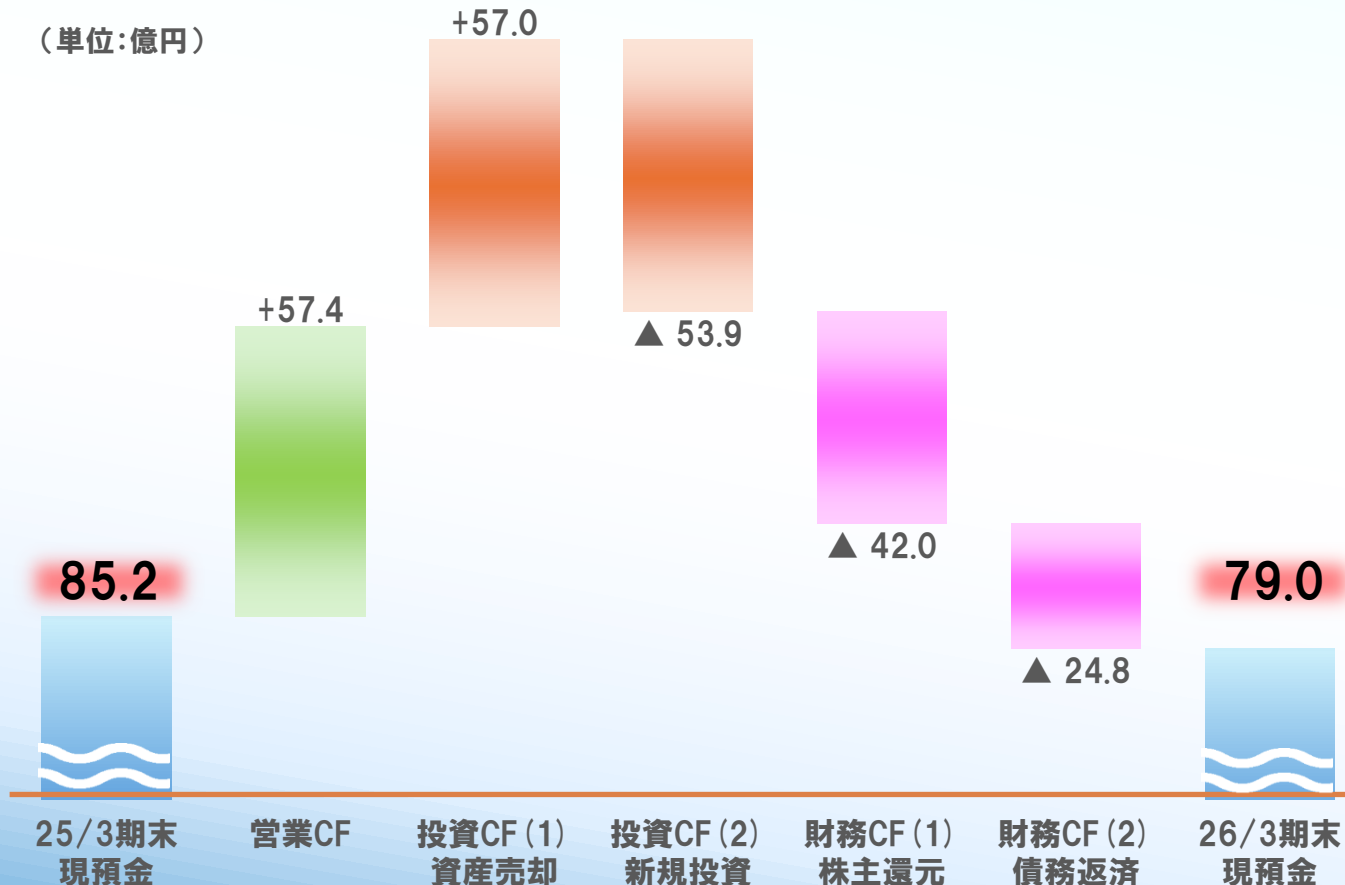
連結合計 (単位:億円)	2025年3月期	2026年3月期	前期末比	備考
資産合計	1,174	1,193	+ 18	
流動資産	288	278	▲ 9	売上債権 +1、現預金 ▲5、立替金 ▲1
固定資産	586	570	▲ 16	建物構築物等 ▲6、土地 ▲2
投資その他	298	343	+ 45	時価評価差額増加 +61、政策保有株売却 ▲52
負債合計	521	508	▲ 12	
有利子負債 (リース負債含む)	303	277	▲ 25	借入純減 ▲24
その他	218	231	+ 13	
純資産	653	684	+ 31	
株主資本	542	574	+ 32	当期純利益 +63、配当 ▲25、自己株式取得 ▲15
その他	111	110	▲ 1	有価証券評価差額金 +10、為替換算調整 ▲1、退職給付に係る調整額 ▲1、非支配株主持分 ▲8

# キャッシュフローの状況

- 営業キャッシュフローは57.4億円のキャッシュイン
- 投資キャッシュフローは物流施設の取得と政策保有株式売却の差引きで3.1億円のキャッシュイン
- 財務キャッシュフローは長期借入金の約定返済・自己株式の取得、株主還元を主要因に66.7億円のキャッシュアウト

## 連結キャッシュフロー

(単位:億円)



### 《キャッシュフローの主な内訳》 (単位:億円)

● 営業キャッシュフロー	+ 57.4
● 投資キャッシュフロー	+ 3.1
(1) 投資有価証券の売却	+ 56.7
(2) 有形固定資産投資	▲ 17.4
(2) システム開発投資	▲ 3.8
(2) 不動産ファンド投資	▲ 31.3
● 財務キャッシュフロー	▲ 66.7
(1) 自己株式取得	▲ 15.6
(1) 配当金支払	▲ 25.1
(2) 借入金減少	▲ 24.7
● 現預金の増減	▲ 6.2

# INDEX

## ➤ 2026年3月期 決算概要

- 連結経営成績
- セグメント別 業績・概況
- 業務別 営業利益 増減要因
- バランスシート / キャッシュフローの状況

## ➤ 2027年3月期業績予想

- 連結業績予想
- セグメント別業績予想

## ➤ 中期経営計画の進捗

- 事業戦略
  - ◆ 物流事業戦略（競争力強化に向けた取組みと「M&A」）
  - ◆ 不動産事業戦略
  - ◆ ESGへの取組み推進
- 財務戦略・株主還元強化
  - ◆ キャッシュアロケーション
  - ◆ 資本効率の向上
  - ◆ 株主還元強化

# 連結業績予想

- 3PL事業における飲料取扱い好調維持、業務効率化と拠点稼働率の最大化
- 労務費・エネルギー価格上昇分に対する適正な価格転嫁の実施
- 政策保有株式の縮減による投資有価証券売却益の計上

単位:百万円	2026年3月期	2027年3月期	前期比	
			金額	比率
営業収益	79,740	83,000	+3,260	+4.1%
営業利益 (営業利益率)	4,097 (5.1%)	5,000 (6.0%)	+903 -	+22.0% (+0.9P)
経常利益	4,858	5,700	+842	+17.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,333	6,500	+167	+2.6%

※連結子会社化予定の名鉄ワールドトランスポート(株)の影響額については精査中につき、上記予想には織り込んでおりません。

# セグメント別<売上高・営業利益>

単位:百万円		営業収益(連結)				営業利益(連結)			
		26/03	27/03	前期比		26/03	27/03	前期比	
				金額	比率			金額	比率
<b>物流事業</b>		<b>73,968</b>	<b>77,000</b>	<b>+3,032</b>	<b>+4.1%</b>	<b>5,682</b>	<b>6,550</b>	<b>+868</b>	<b>+15.3%</b>
	3PL業務	37,211	38,100	+889		2,403	2,830	+427	
	港湾運送業務	8,029	8,300	+271		658	810	+152	
	陸上運送業務	19,568	20,500	+932		1,298	1,510	+212	
	国際輸送業務 (国際・航空)	7,992	9,000	+1,008		356	500	+144	
	その他物流業務	1,166	1,100	▲66		854	900	+46	
	連結調整額	-	-	-		+111	0	-	
<b>不動産事業</b>		<b>6,146</b>	<b>6,300</b>	<b>+154</b>	<b>+2.5%</b>	<b>3,467</b>	<b>3,580</b>	<b>+113</b>	<b>+3.3%</b>
調整額		▲373	▲300	-	-	▲471	▲200	-	-
販売管理費		-	-	-	-	▲4,580	▲4,930	-	-
<b>合計</b>		<b>79,740</b>	<b>83,000</b>	<b>+3,261</b>	<b>+4.1%</b>	<b>4,097</b>	<b>5,000</b>	<b>+902</b>	<b>+22.0%</b>

※連結子会社化予定の名鉄ワールドトランスポート(株)の影響額については精査中につき、上記予想には織り込んでおりません。

# INDEX

## ➤ 2026年3月期 決算概要

- 連結経営成績
- セグメント別 業績・概況
- 業務別 営業利益 増減要因
- バランスシート / キャッシュフローの状況

## ➤ 2027年3月期業績予想

- 連結業績予想
- セグメント別業績予想

## ➤ 中期経営計画の進捗

- 事業戦略
  - ◆ 物流事業戦略（競争力強化に向けた取組みと「M&A」）
  - ◆ 不動産事業戦略
  - ◆ ESGへの取組み推進
- 財務戦略・株主還元強化
  - ◆ キャッシュアロケーション
  - ◆ 資本効率の向上
  - ◆ 株主還元強化

# 物流事業戦略 ～ 競争力強化に向けた取組み ～

中期経営計画2026 重点項目		FY2024	FY2025	FY2026～
収益力の強化		DX推進、 ロボティクス積極導入 	アパレル/雑貨DC 運営モデル確立 	ロボティクス x AI/RPA 更なる競争力 強化 
ネットワーク 拡充	国内	千葉北飲料向けDC 危険物倉庫新設 (関西・関東3拠点) 	横浜本牧定温倉庫 松戸DC拡張 	習志野飲料向けDC 
	海外	上海 外高橋保税地区倉庫拡張 	バンコク新規開設 香港定温倉庫増設 (コールドチェーン物流) 	フォワーディング事業強化 M&Aによる海外新拠点 (米国・アジア) 
業域の拡大		日本食材輸出 = 商社機能 + 複合一貫輸送サービス 	リチウムイオンバッテリーフォークリフト 販売開始 	外国人ドライバー、 倉庫作業者活用支援 

## 競争力強化

- ・ ネットワークの拡充
- ・ 将来の労働力不足、更なる競争力強化に向けたロボティクス、AI/RPAなどのDX投資

## M&A、 資本提携

- ・ 当社の競争力強化につながる領域
- ・ 業容拡大に足りないリソースを補完する企業

## 業域の拡大

- ・ フォークリフトの販売/メンテナンス
- ・ 自社に足りない機能、ミッシング・ピース補完

## <M & A 戦略>

### 名鉄ワールドトランスポート(株) 全株式を取得 (※注記)

(株式取得の目的)

国際物流事業の収益基盤強化  
インオーガニック成長による成長曲線  
の底上げ

(目標)

**Shibusawa2030ビジョンの実現**

(注記)

本件が当社の当期ならびに来期以降の連結業績に与える影響については現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

## 統合によるシナジー

### フォワーディング事業

航空・海上フォワーディング機能の拡充による  
一貫輸送体制の深化  
取扱量拡大による価格競争力の強化

### 国内物流事業

買収先顧客への国内物流クロスセル推進  
国内拠点統合による収益力向上

### グローバルネットワーク

北米・アジアを軸としたグローバルネットワークの  
戦略的拡充  
重複拠点の統合による競争力強化

### 人的資本

(グループ内の人財交流  
の活性化)

国際物流の専門人材の活用とノウハウ共有によるシナジー創出  
人材交流によるトータルロジスティクス人財への進化

## 【不動産ポートフォリオの収益性の向上】



所有資産の  
収益基盤多様化

## 【物流事業とのシナジー】



物流不動産事業  
の拡充

## 【開発事業への取組み】



開発プロジェクトの  
取組み

## Environment(環境)



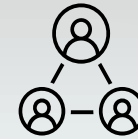
- 環境配慮型拠点の新設 (CASBEE Aランク認証、ZEB認証)



- 不動産事業における再生可能エネルギー導入率100%達成
- Scope3開示、第三者保証開始
- サステナビリティ・リンク・ボンド発行



## Social(社会)



- イノベーションの推進



- 「DX認定」取得



- 物流6社合同による意見交換会開催 (人権、ダイバーシティ推進、女性活躍)



## Governance(ガバナンス)



- 監査等委員会設置会社への移行



- 情報開示充実



澁澤倉庫グループ TNFD 提言に基づく自然関連財務情報レポート



- 外部機関からの評価向上



FTSE Blossom  
 Japan Sector  
 Relative Index



## 資本効率の向上

収益力の強化と資産ポートフォリオの最適化により、資本コストを上回るROEを追求

## 長期ビジョン達成

『Shibusawa2030ビジョン』で掲げる「ROE10%以上」の早期実現

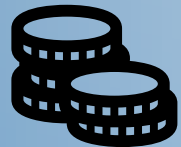


## 政策保有株の縮減

政策保有株式の解消を加速し、創出したキャッシュを成長投資と株主還元最適配分

## 資本効率の向上

2028年度に連結純資産比率に対し「20%以下」の達成



## 株主還元強化

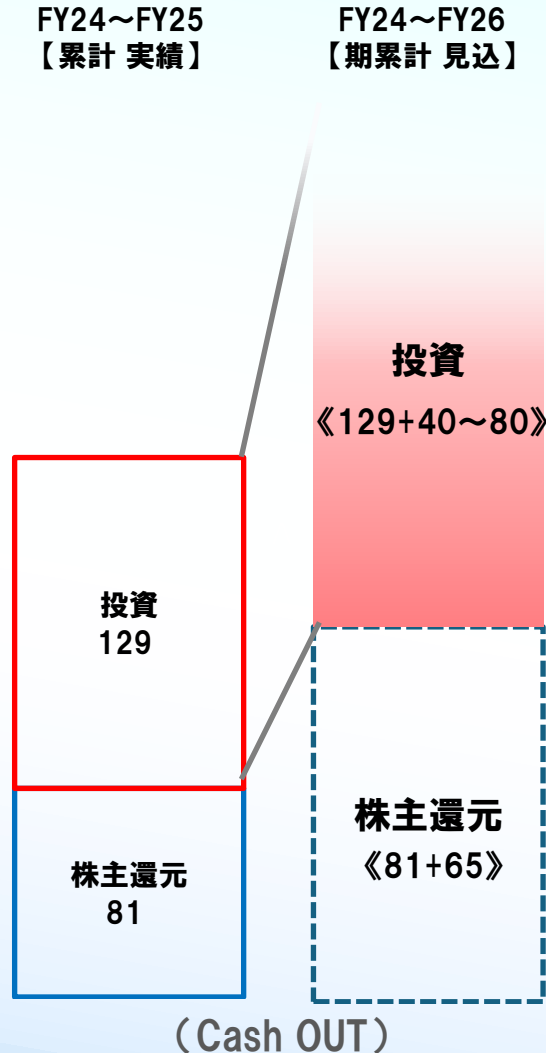
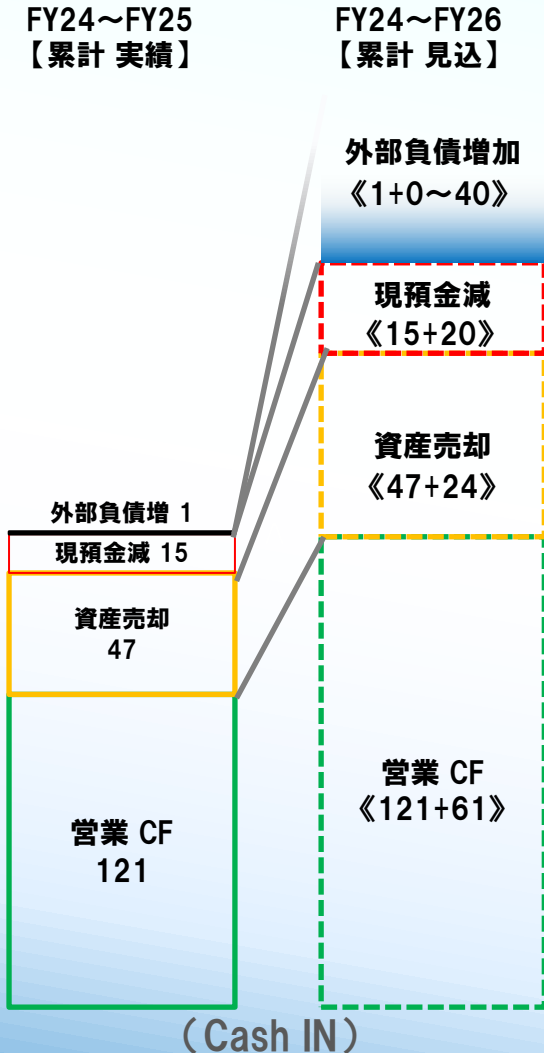
「配当性向50%以上の累進配当」と「機動的な自己株式の取得」を実施

## 8年連続増配

安定的な配当に加え、自己株式の機動的な取得を実施することで、株主還元を強化

## 中期経営計画2026 FY24~FY26

(単位:億円)



## キャッシュアロケーションの考え方・状況

- ✓ 資本効率向上のため、政策保有株式の売却計画加速
- ✓ 成長投資への積極的取組み継続  
M&Aによるキャッシュアウト額は当初計画より減少(相応の外部負債調達余力維持)
- ✓ 中計最終年度としてキャッシュアロケーション、負債・資本比率等勘案し、株主還元強化

### FY24~FY25主要投資案件

- ◆ **物流事業**
  - 横浜本牧倉庫新設 35億円
  - 危険物倉庫(国内3拠点) 15億円
  - システム開発投資 13億円
  - 自動化、機械化(DX)投資 7億円
- ◆ **不動産事業**
  - ファンド活用投資(3件) 40億円

### FY26投資検討状況

- ◆ **物流事業(含むM&A)、不動産事業 合計**
  - キャッシュアウトベース 40~80億円

## 政策保有株式の縮減状況 (単位:百万円)

**縮減方針** : 政策保有株の縮減を推進し、資本効率を向上させることで、資本コストを意識した経営を徹底

計画を常に上回るペースで推移  
 2029年3月期に連結純資産比率に対し  
**20%以下の早期達成**



中期経営計画2026

# 株主還元強化

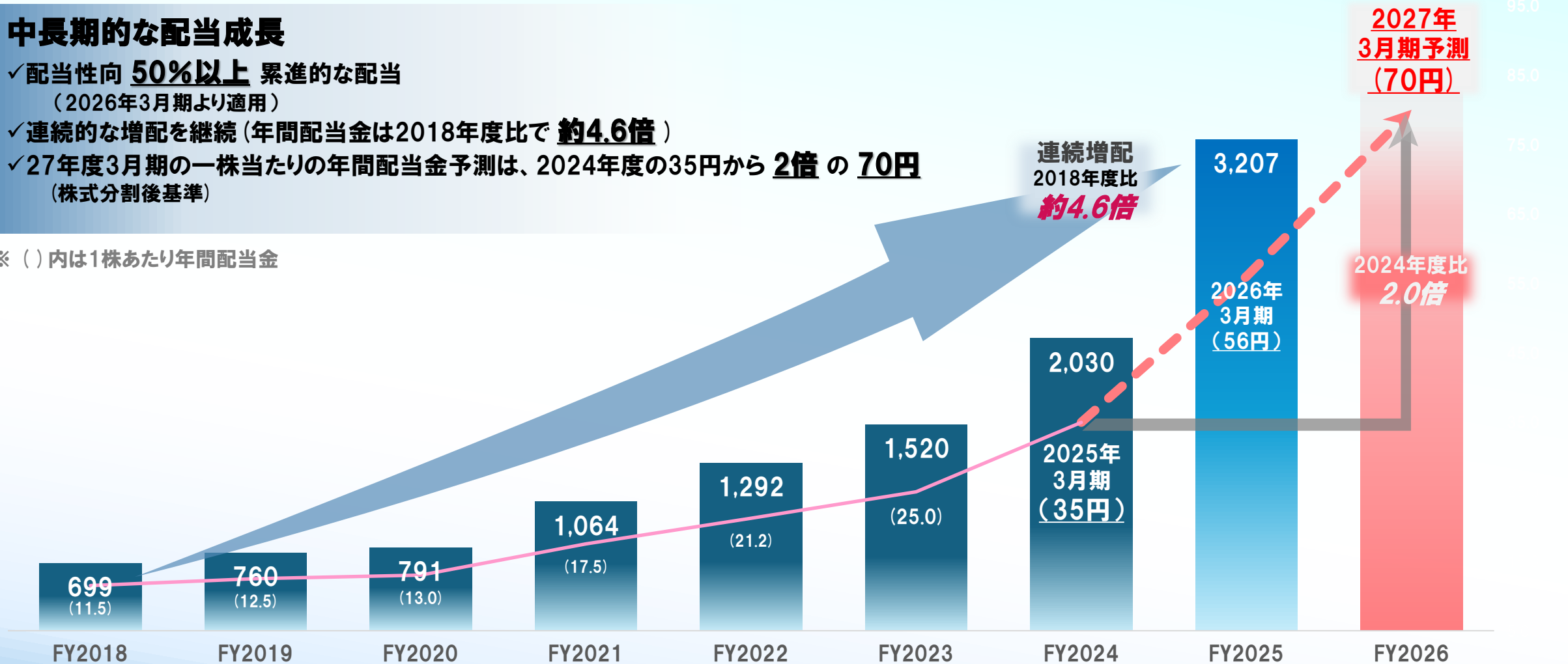
## 年間配当金(総額)の推移

(単位:百万円)

### 中長期的な配当成長

- ✓配当性向 **50%以上** 累進的な配当  
(2026年3月期より適用)
- ✓連続的な増配を継続(年間配当金は2018年度比で **約4.6倍**)
- ✓27年度3月期の一株当たりの年間配当金予測は、2024年度の35円から **2倍** の **70円**  
(株式分割後基準)

※ ( )内は1株あたり年間配当金

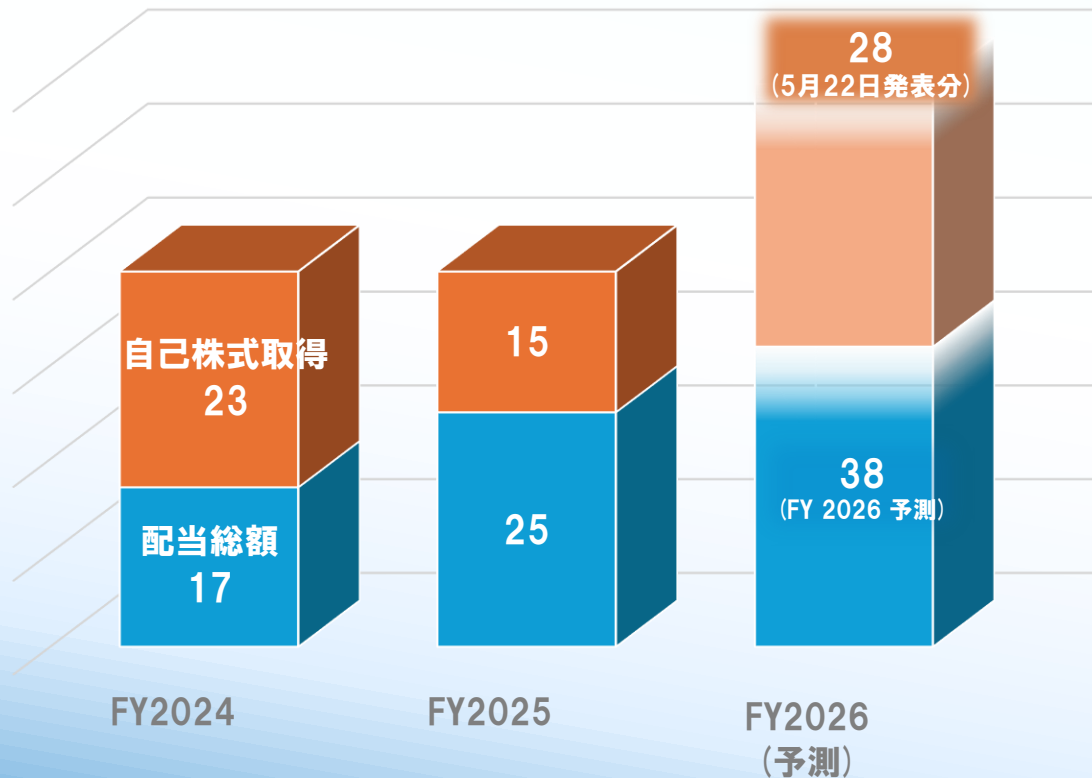


※ 2025年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割したため2026年3月期以前は分割後基準に換算。配当金額は、分割日以前についても当該株式分割の影響を考慮した金額。

## 配当に加え、機動的な自己株式の取得

- ✓ 資本市場の動向、株価水準等も勘案の上、今後も機動的な自己株式の取得を実施

自己株式取得額・配当総額の推移  
 (単位:億円)



## 「株式分割」による、流動性の向上と投資家層の拡大

- ✓ 効力発生日 : 2025年10月1日

### (1) 株式分割の目的

- ： 投資単位当たりの金額引き下げ  
 投資家の皆様が投資しやすい環境の整備  
 流動性の向上と投資家層の拡大

### (2) 分割の方法

- ： 1株につき4株の割合

	変更前	変更後 (4分割)
一単元 (100株) 取得額	463,200円	115,800円
1株当たりの株価 (25年9月30日現在)	4,632円	1,158円

### (3) 分割の効果

- ： 2026年3月末現在

一単元 (100株) 取得額	131,900円
株主総数	19,078名 (前年度比+13,609名)